

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 経尿道的膀胱腫瘍切除術および一塊摘除術の臨床的検討』

研究機関名 東邦大学医療センター 大橋病院

研究責任者 泌尿器科 職位・氏名 講師・竹内康晴

【試料・情報の利用目的】

本研究は、当院における膀胱腫瘍の患者さんに対する経尿道的膀胱腫瘍手術の治療成績と合併症について、腫瘍を短冊状に細かく切除する方法(切除術)と一塊に摘除する方法(一塊摘除術)とを比較検討し、経尿道的膀胱腫瘍一塊摘除の安全性と有効性を評価することを目的としています。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

診療録に記載されている病歴、経尿道的膀胱手術の術中及び術後の経過、特に合併症の発生状況、膀胱腫瘍の病理学的所見、膀胱腫瘍の再発の有無など。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年12月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

他機関への提供は行わないため該当せず

【試料・情報の取得方法】

対象者:2012年1月より2025年11月までに東邦大学医療センター大橋病院において、膀胱腫瘍と診断され、経尿道的膀胱腫瘍切除術および一塊摘除術を受けられた方を対象とします。およそ400名前後を予想しております。

方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。予後観察は1年間予定です。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者:竹内康晴_役職:講師

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 泌尿器科 竹内康晴

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026年12月31日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用いたしません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、長期にわたる研究であり、対象者の死亡、認知機能低下の可能性がります。代諾者からの研究参加拒否の申し出にも対応させていただきます。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 泌尿器科

職位・氏名 講師・竹内康晴

電話 03-3468-1251 内線 7574